

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

## 1 全事業共通

### 地域の現状と課題について

#### 【現状】

地域包括支援センター及び生活支援体制整備事業の担当エリアは、小菅ヶ谷連合町内会自治会の全エリア（地域活動交流担当地域と合致）、本郷中央連合町内会自治会の一部地域（桂町）（地域活動交流担当地域は桂台ケアプラザ）、本郷第三連合町内会の一部地域（鍛冶ヶ谷町・柏陽）（地域活動交流担当地域は中野ケアプラザ）です。町別にみると、鍛冶ヶ谷町、小菅ヶ谷一丁目、小山台、柏陽は高齢化率が 25%以上となっています。

最も高齢化率の高い小山台は少子高齢化が深刻になっていますが、高齢者を対象としたサロン・町内活動が活発です。高い高齢化率に反して元気な高齢者が多いと考えられる反面、担い手不足から地域活動の継続に課題を抱えています。駅前に位置する小菅ヶ谷一丁目には築 40 年以上の公団や市営住宅等の団地があり、徒歩圏内に商店・病院があることから高齢者の転入が進んでいます。同時に小菅ヶ谷二丁目～四丁目の比較的新しいマンション群には子育て世代が転入しています。駅前国家公務員住宅跡地に建設予定の大型マンションの建築が始まりました。数年後には桂町の年齢層が変化していくと予測されます。

#### 【課題】

担当地域では、今後後期高齢者の増加に伴い介護相談も増加すると考えられます。坂道と戸建の多い小山台、小山台と隣接している小菅ヶ谷三丁目、鍛冶ヶ谷町、柏陽では交通の便が悪く、商業施設少ないため、外出の機会が制限され、高齢者が閉じこもる恐れがあります。そのため認知症のリスクや身体機能の低下が懸念されます。駅前の団地は、独居高齢者が多く、経済的な課題を抱えている世帯もあります。在宅での療養、看取りの相談も増加しており、介護と医療のさらなる連携が求められます。

成人の引きこもりが珍しくないことも課題です。精神疾患を抱える方の相談もあり、併設されている栄区生活支援センターをはじめ、関係機関・関係団体との連携がより必要になっています。

一方、小菅ヶ谷エリアでは年少人口も他のエリアと比べ多くなっているため、子育て世代が孤立しないような支援が必要です。

### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

（ア）「福祉総合相談窓口こすがや」とわかりやすくネーミングし、気軽に来館し、高齢者・子ども・障害者分野の様々な相談をしていただけるよう、チラシを作成し出前講座やケアプラザ祭り・駅前祭り、自主事業などで広報しました。

（イ）相談には真摯に対応し、迅速・丁寧・的確な支援ができるよう、所内の関係部署はもちろんのこと、関係機関・関係団体・医療機関・専門職種と情報共有を図り、円滑な連携に努めました。

（ウ）総合相談窓口として、介護保険サービス情報はもちろんのこと、月1回は所長も含めた5職種会議を実施し、地域のインフォーマルサービスや地域情報などの情報収集・共有をし、必要とする方に適切に情報提供できるよう努めました。

（エ）5職種（地域包括支援センター3職種、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーター）が協働して、出前講座や出張相談会を実施し、ケアプラザや福祉総合相談窓口こすがやの周知を行いました。

### (2) 各事業の連携

（ア）地域包括支援センター、生活支援体制整備事業、地域活動交流事業で把握している情報を毎月の会議や報告書などで共有し、個別相談から自主事業やボランティア活動につなげるなど、継続的に見守りを行ないました。

（イ）5職種（地域包括支援センター3職種、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーター）会議を毎月開催し、地域状況や課題の共有、情報交換、支援方法の検討などを行いました。また職員会議（所内会議）で他職種にも報告をし、ケアプラザ全体で地域支援を行うようにしました。

（ウ）5職種で地域の催しやサロンに積極的に参加したり、安全パトロールなどの取組、地域ケア会議などで地域の方の声を聴き、状況把握に努めました。

（エ）地域ケア会議（個別レベル4回、包括レベル1回）を開催しました。6職種会議・3職種会議などでテーマや内容について検討し、会議に出席することにより個別課題や地域課題について理解を深めていくことができました。

（オ）出前講座や自主事業などの講師を通所介護事業所、居宅支援事業所職員にも依頼したり、ケアプラザまつりなど、ケアプラザ全体で地域支援を行いました。

### (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

（ア）キャリアパスを明確にし、介護の資格取得に意欲を持ってもらえるようにしました。結果、無資格で入職した方が初任者研修に受講することになりました。

（イ）法人及び小菅ヶ谷地域ケアプラザの年間研修計画に基づき、職員の資質向上を図りました。また、外部研修にも積極的に参加できるよう業務の調整などおこないました。通所部門においては、定期的な介護技術研修や感染症研修を実施し介護職としてスキルアップを図りました。

（ウ）職場内スーパービジョン体制を作り、働きやすい環境を整えました。また、朝のミーティング時、ストレッチ体操を取り入れるなど

腰痛予防にも取り組みました。

(エ) 地域包括支援センターでは、介護保険サービス利用の相談を受けた際に、相談者が居宅介護支援事業所やサービス事業所を選択できるように、栄区ケアマネ空き情報、ホームページ等を用いて居宅介護支援事業所に関する情報を提供しました。また地域ケアプラザにおけるアンケートでは、ご協力いただいた全ての方から、情報提供、関係機関の紹介等について、適切な対応ができていると評価をしていただきました。

#### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

(ア) 小菅ヶ谷つながるプラン町内会自治会訪問にて2町内会訪問、町内会自治会訪問意見交換会、ボランティア団体との交流会、防災研修、子育て研修、つながるプランニュース編集などに企画から参加し、顔の見える関係作り、地域の課題の共有、ネットワーク構築、社会資源の把握を行いました。

(イ) 地域ケア会議をきっかけに、ケヤキロード商店街に調整していただき、駅前まつりの参加や近隣大学（鎌倉女子大）との交流から地域へのサロン参加へとつながりました。また、伊藤園などとの企業とも関りを多くし、ケアプラザから地域へネットワークが繋がるようにしました。

(ウ) 個別レベル地域ケア会議を2回、包括レベルを2回開催しました。個別レベルでは、地域住民や民生委員に参加してもらうことで、見守り機能や介護保険サービスから地域活動に繋げることが出来ました。

(エ) 自治会町内会、各関係団体への出前講座を9回開催しました。開催内容については、それぞれの希望を組み入れながら開催しています。

(オ) 小菅ヶ谷つながるプラン（地域福祉保健計画地区別計画）の周知と第3期計画を推進するため、町内会自治会訪問、町内会自治会訪問意見交換会を経て、テーマごとに課題整理をしました。その結果を共に検討し、第3期計画の中間報告に反映させました。また、町内会自治会訪問意見交換会、ボランティア団体との交流会、防災研修、子育て研修にて小菅ヶ谷つながるプランと自治会町内会、地域の多様な住民が協力できる関係作りを進めました。

#### (5) 区行政との協働

(ア) 区役所・区社会福祉協議会と連携し、町内会自治会訪問意見交換会を経て第3期計画中間報告にて全体の見直しと確認を行いました。その後、ボランティア団体との交流会、防災研修、子育て研修等を協働して進めました。

(イ) 小菅ヶ谷つながるプラン事務局として区役所・区社会福祉協議会と密に連携し、第3期計画の推進のため、活動の内容と方向の検討を重ねました。

(ウ) 包括カンファレンスを毎月開催し、個別の課題解決や情報共有を行いました。訪問型Cの活用についても話し合い、今年度サービスに繋がりました。また、年4回（4月、7月、10月、1月）5職種・区役所・区社会福祉協議会と地域アセスメントを行い地域情報や課題を共有しました。

(エ) 地域サロン等訪問時に、セーフコミュニティのパンフレットを使いながら、目的の周知、転倒予防・ヒートショックの周知を図りました。また、いたちまつり（施設まつり）では特設コーナーを設け、参加型クイズの実施を通してセーフコミュニティの周知に努めました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

(ア) 子育て事業では、父親向けの子育て事業を子育て支援拠点にこりんくと共催しました。「パパと一緒に遊ぼう」は申し込みが多く、大好評でした。また障害事業においても、「うたっちゃお」は参加者も増え、居場所として定着しています。そして高齢分野において、「ほっかほかタイム」ではボランティアも増えてきています。

(イ) 自主事業でのアンケートの実施や、地域の方々からその都度ニーズ等を伺い、6職種会議やサブコーディネーター会議で検討しました。様々な機関やボランティア団体との共催事業を実施しました。その一つ、全世代対象に、「スマホ&タブレット初心者相談会」を実施しました。キャンセル待ちが出るほどの盛況でした。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

(ア) デイサービスへのボランティアとしての活動紹介や、自主事業のボランティア講師の依頼など活動支援をしました。

(イ) 世代交流サロン「ひだまり」や貸室団体などへ、ケアプラザ祭りやボランティア交流会など保健福祉活動披露の場を提供し、広く地域の方へ活動を知っていただく機会を設けました。

(ウ) 上記以外にも貸室団体に「ぴかぴか大作戦」へお誘いをし、ボランティア活動の場を提供しました。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

(ア) 貸館団体をデイサービスでの演奏等披露につなげました。また、ボランティア感謝会&交流会にて、演奏披露をしてもらいました。

(イ) 日頃からお世話になっているボランティアを招き「ボランティア感謝会&交流会」を2月に開催しました。お互いの活動紹介で交流を深め、情報交換を進めました。団体同士の新たな連携が生まれました。

(ウ) 「スリーA てんとう虫サークル」に参加し、地域包括支援センターと協働しての立ち上げ支援を行いました。

(エ) 自主事業の「ちょっきんカットボランティア」「ミシンボランティア」「植栽ボランティア」の参加者に対して活動支援を継続し、地域の担い手になるよう支援しました。

(オ) 6ケアプラザ共催で、よこはまシニアボランティアポイント研修会を開催しました。様々なボランティア活動を紹介し、参加者のモチベーションアップにつなげました。

(カ) ボランティア連続講座を開催し、講座参加者に合ったボランティア活動を紹介し、継続支援をしました。



#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

(ア)「ボランティア感謝会&交流会」では、お互いの活動を知り、福祉保健活動についての情報提供をしました。その結果、参加者同士のコラボレーションが生まれました。

(イ) 地域サロン等訪問時、積極的に参加者の声を拾い、ニーズ把握を行いました。また、参加者や担い手へ、よこはまシニアボランティアポイントやよこはまウォーキングポイントなどの情報提供を行いました。

(ウ) 小菅ケ谷つながるプラン推進会議企画委員と共に町内会訪問を実施し、広報部会、地域のボランティア団体定例会、各種研修、地域のお祭り等に参加し、様々な情報提供をしました。

(エ) 地域版広報紙「小菅ケ谷地域ケアプラザだより」を（年4回）発行しました。ケアプラザ事業の周知「事業予定カレンダー」を掲載し、開催事業がすぐに分かるようにしました。

(オ)「小菅ケ谷地域ケアプラザだより」の発行月以外にも自主事業チラシを作成し地域に配布しました。

(カ) 地域ケアプラザ周知のため、ホームページ、ブログ「小菅ケ谷ケアプラザ『徒然なるままに・・・』」で、事業の様子やボランティア活動等を伝え、地域ケアプラザに興味を持ってもらえるようにしました。

(キ)「広報よこはま栄区版」に毎月事業を掲載し、広域に周知しました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

(ア) 地域包括支援センターと協働し、介護予防と社会参加につながる事業を行いました。介護予防講座終了後に体操クラブの立ち上げ支援を行ない、運営継続を支援しました。「爽和会 爽やか体操」が自主化に至りました。

(イ) 高齢者が地域とのつながりをもって社会参加できるよう、地域に開かれた事業を行いました。「植栽ボランティア」、「ミシンボランティア」、「ちょっぴんカットボランティア」などの活動を、広報紙などを使って周知しました。また、参加者の意見を取り入れ、社会貢献につながる、実りある活動（デイサービスへの技術提供、成果物寄付）などを展開しました。

(ウ) 高齢者が地域で役割をもって社会参加できるよう、ボランティア活動を継続支援しました。「華シニア連続講座」ではさかえ華シニアボランティアグループが講座を企画・運営できるよう支援しました。「手しごとクラブ」では参加者が包丁研ぎ講

座等を経て生活支援に関わるボランティアとして活動を展開できるよう支援しました。

(エ) 地域包括支援センター、地域活動交流と協働して、町内会自治会やシニアクラブ等に向けた出前講座を積極的に実施し、新たなつながりを深めるよう事業展開しました。今年度は地域サロンでの活動を協議体につなげました。

(オ) ケアマネジャーや地域の方からの情報を目的別に整理し、地図や表として見える化を進めました。また、ケアマネジャー向けに情報発信を行いました。

## (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

(ア) 自主事業、出前講座、サロン参加、町内会自治会訪問などから地域の声を聞き、最新の情報を収集し、地域のニーズや社会資源の把握に努めました。

(イ) 広報部会、つながるプラン企画会議、つながるプラン研修会、地域活動団体の定例会等、地域の会議や行事に参加し、顔の見える関係づくりを進め、地域のニーズや社会資源の把握に努めました。

(ウ) 民生委員、地区社会福祉協議会、商店街、NPO、民間企業等、地域の関係者と積極的に連絡を取り、関係づくりと地域情報の把握に努めました。

(エ) 区役所、区社会福祉協議会、地域包括支援センター、地域交流コーディネーターと情報交換を行い、各地域の実態把握をして地域ニーズの抽出と共有に努めました。

(オ) 地域包括支援センターや地域活動交流と月1度の会議や日頃からの情報交換を通して、地域アセスメントや課題の共有をし、分析を行いました。

## (3) 連携・協議の場

(ア) 地域包括支援センター、地域活動交流コーディネーターと協力し、出前講座やサロン訪問などを積極的に実施し、地域の関係機関や団体との関係づくりを図りました。

(イ) 6職種会議を毎月開催し、情報交換、地域状況や課題の共有、支援方法の検討等を行いました。

(ウ) 地域包括支援センター、ケアマネジャー、区役所、区社会福祉協議会、民生委員、町内会自治会、地域活動団体等と共にネットワークを築き、協議体を開催しました。

(エ) 小菅ヶ谷つながるプランを推進する中で、地域の福祉保健に関わる団体や個人と協働しました。また、課題解決に向けた協議の機会を得ました。

## (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- (ア)「サービスリスト」の活用をめざし、広域の地域情報やインフォーマルサービスを把握し、ケアマネジャー、地域の団体等、情報を必要とする関係者に情報提供しました。
- (イ)連絡会、専門職会議、研修会、地域ケア会議、協議体にあたる会議に参加し地域課題を共有しました。研修や事例検討で知見を広げ、課題解決に向けて事業展開しました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ①地域におけるネットワークの構築

(ア)5職種で連携し、出前講座やサロン訪問を行いました。地域ケア会議から顔見知りの関係となり、駅前祭りにつながることができました。また、個別相談の中で関わった機関・団体や多職種勉強会、事例検討会など通して、関係づくり・連携を深めました。

(イ)事例検討会やアウトリーチパートナー、多職種勉強会などを実施し、様々な機関・団体が繋がるができるように支援しました。

#### ②実態把握

(ア)総合相談や自主事業、出前講座やサロン訪問などの情報をもとに、3職種会議・6職種会議なので情報共有をし課題分析を行いました。

(イ)定例カンファや地域アセスメント会議(4回/年)を通して、区役所、区社会福祉協議会、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと情報共有を行い、地域の実態把握に努めました。

(ウ)民生委員や地域住民との安全パトロール、地域活動への参加などから、こまめな地域情報の把握を行いました。

(エ)「地域のインフォーマルについて話し合おう」にて、ケアマネジャーと生活支援コーディネーターが繋がり、地域のインフォーマルサービスや課題抽出の場をつくりました。

#### ③総合相談支援

(ア) 小山台の薬局やコープ野村本郷台自治会と共催にて出張相談会を実施しました。薬剤師や自治会役員とのつながりを持つこともできました。

(イ) 要支援者や元気な高齢者からの相談については、生活支援コーディネーターとも情報共有を行い、地域で活躍できる場やボランティアにつながるような支援を行いました。

(ウ) 相談・訪問件数は延べ 1708 件（2 月末）となっています。個別相談が迅速かつ丁寧に対応できるように日頃より、様々な機関や団体と連携をとり（会議への出席やチラシ配布訪問、事業への参加依頼など）相談しやすい関係性を築いてきました。

## (2) 権利擁護業務

### ①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

(ア) 地域住民向けの講座「みんなの勉強会」を実施し権利擁護啓発（相続・遺言・葬儀・消費者被害）を行いました。また、栄区版エンディングノート「シニアライフノート」を駅前祭り・ケアプラザ祭り・自主事業・地域サロン・ケアプラザの窓口などで啓発や配布を行いました。

(イ) 6 地域包括支援センター共催事業として「権利擁護相談会」を企画し 2 組の相談者がありました。

(ウ) 権利擁護サポートネットの出席・包括社会福祉士会での勉強会やツール作成などを通し、より個別相談への対応ができるようになりました。法テラスの活用により、本人申し立て支援を行いました。また、自主事業でつながった士業の方と個別相談の方をつなげる支援を行いました。また、区社会福祉協議会あんしんセンターとの連携も増えています。

(エ) 栄警察の方に、高齢者向けの消費者被害講話をお願いしました。

(オ) 消費者被害予防の一環として、年金受給日に防犯協会の方と金融機関前で啓発活動を行いました。

### ②高齢者虐待への対応

(ア) 虐待の相談・訪問について、延べ 17 件（2 月末）となっています。虐待相談については、区役所をはじめ関係機関と連携し迅速な対応を行いました。

(イ) 区役所・6 地域包括支援センターと共催にて、虐待予防出前講座を 5 回実施しました。（デイサービス・小規模多機能・ヘルパー事業所・ケアマネジャー・有料老人ホーム）

(ウ) 認知症介護者のつどいを 6 回/年開催し、介護者支援を行いました。



### ③認知症

(ア) 認知症サポーター養成講座をボランティアや地域サロン参加者に3回実施しました。講師を地域で活躍するキャラバンメイトをお願いをしました。

(イ) 地域ボランティア向け(パソボラ)認知症理解のための出前講座(講師の調整)や認知症予防の3A講座を実施しました。

(ウ) 認知症介護者のつどいを年6回/年開催し、介護者支援を継続して行いました。

(エ) 本年度は地域ケア会議のテーマを「認知症の方への支援」とし個別レベル4回・包括レベル1回を開催しました。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ①地域住民、関係機関等との連携推進支援

(ア) 民生委員、ケアマネジャー、障がい機関、子育て機関、地域住民を集め、区役所と共同で生活困窮アウトリーチパートナーについて学び、連携を深めました。また、地域ケア会議にも多職種が参加することにより、地域包括ケアシステム構築に向けての理解が深まりました。

(イ) 地域の医師、薬剤師、訪問看護師、在宅医療相談室、ケアマネジャーを集め、事例検討、情報交換会を開催し、顔の見える関係が深まりました。

#### ②医療・介護の連携推進支援

(ア) 地域の医師・薬剤師・医療連携拠点・ケアマネジャー・訪問看護ステーションと情報交換や医療課題をテーマにした事例検討を行いました。それぞれの立場からの支援の視点を共有することができました。

(イ) 医療連携チームの一員として、定期開催の会議に出席し、区域での医療介護の連携・相談内容・現状について情報交換を行いました。それらの情報については、6職種で共有しました。

(ウ) 協力医である横浜さかえ内科の中田医師の相談会を7回開催しました。その他、広報誌に健康コラムの掲載をしました。

(エ) 栄区在宅医療相談室と共催にて多職種向け事例検討会を開催し、精神疾患に対する関わり方を学びました。

#### ③ケアマネジャー支援

(ア) 栄区6ケアプラザ共催にて、新任ケアマネジャー向けに「主任ケアマネジャーに聞くケアマネのいろは」「福祉機器支援センターに行こう」2回開催しました。基礎知識を学ぶ他、新任ケアマネジャー同士のつながり持てるようにも配慮し、お互いがLINEでつながり、相談し合えるツールができています。

(イ) ケアマネジャーからの相談件数は318件内、支援・困難事例への支援対応194件でした(2月時点)。相談内容は3職種で共有し、適宜同行訪問を行いました。困難事例にこだわらず、必要に応じて区役所との定例カンファレンスでも情報を共有し、連携強化にも努めました。

(ウ) ケアマネジャーからの相談をきっかけに、地域ケア会議や地域の医師、薬剤師、訪問看護師、在宅医療相談室、ケアマネジャーを集めた事例検討会を開催しました。相談内容から生活支援コーディネーター協働による「地域のインフォーマルサービスについて話し合おう」や、6包括主任ケアマネジャー協働による「ハートページの読み方研修」を開催しました。

(エ) 特定事業所加算を取得している居宅介護支援事業所に求められている「他事業所との事例検討会の開催」に対するアドバイスや事業所間の仲介役となりました。結果4居宅事業所が集まり年4回開催された「ハナミズキ勉強会」の後方支援として参加しました。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

(ア) 様々な機関や団体とのネットワーク構築に向け、区役所生活支援課と共催にて「アウトリーチパートナー研修」を行いました。民生委員・障がい相談機関・子育て相談機関・ケアマネジャー・区役所に参加してもらいました。

(イ) 在宅医療相談室との共催で多職種による事例検討会、医療とケアマネジャーとの事例検討会・交流会を開催することで、多職種間での横のつながりネットワーク構築が強化されました。

(ウ) 包括レベル地域ケア会議を1回開催しました。4回個別レベルを開催した結果「認知症の見守りについて」の事例を元に、医師、医療関係者、薬剤師、行政書士、警察、サービス事業所、ケアマネジャー、民生委員、地域住民、社会福祉協議会、区役所が参加をし、つながりが強化されました。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

##### 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

(ア) 予防プランナー会議で目標の立て方やアセスメント方法について勉強し、要支援者が自立した生活を送ることが出来るように努めました。委託先ケアマネジャーには個別に窓口や電話でその都度支援しました。

(イ) ケアマネジャー勉強会「地域のインフォーマルについて話し合おう」にて、生活支援コーディネーターとインフォーマルサービスの情報共有をしました。勉強会のあと、積極的にプランに取り入れるように周知しました。

(ウ) 介護予防・日常生活支援総合事業の周知に努めました。プランのチェック、アドバイスをしました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業
(ア) 自治会、民生委員と協働し、高齢者サロン、お祭りに出向き、栄養やロコモティブシンドロームについて介護予防に関する講座を開催しました。協力医による健康セミナー「メタボリックシンドロームと動脈硬化」を開催しました。
(イ) 「脳活性化認知症予防ゲーム・スリーA講座」を開催し、「てんとうむし・スリーAサークル」立ち上げを支援しました。
(ウ) 東武本郷台自治会・爽和会からの依頼で生活支援コーディネーターと協働し「爽やか体操」の立ち上げ支援をし、自主化しました。

5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について
(ア) 年間計画に沿って、毎月の定期清掃及び日々の清掃を外部専門業者に委託し、来館者が心地よく利用できるよう努めました。エアコン内部の洗浄や床の蓄積されたワックスを剥離し再度ワックスを塗りなおしました。年2回、全職員で不用品や書類の整理及び日常清掃で見落としがちな部分の清掃を行い、清潔保持に努めました。年3回「ピカピカ大作戦」と名付け、利用団体の方に参加いただき、清掃や食器類の漂白や消毒を行い、清潔保持に努めました。
(イ) 空調および消防設備やエレベーター等は、専門業者による定期点検を実施し、お客様にとって快適な施設となるよう努めました。
(ウ) 毎月定期開催の衛生委員会において、産業医の助言を受けながら、館内・外の

環境美化や安全性について検討しました。栄区生活支援センターと協力して共有部分の整備を行い、施設維持に努めました。

(エ) 台風や暴風雨等、自然災害による被害、老朽化による破損や故障が心配される部分について、小まめな点検や観察を行いました。破損や欠損、故障を未然に防ぎ、来館者の安全に配慮し、利用に際し不便をかけないように努めました。

#### (2) 効率的な運営への取組について

(ア) 法人本部を中心とした管理体制を強化するとともに、財務・事業の厳格なチェック、倫理綱領の徹底、苦情相談で得られた情報を反映したサービスの品質管理や向上を行い、適正なコンプライアンスに基づいた経営に取り組みました。

(イ) 建物管理や保守、送迎車両のリース等の委託業者選定に当たっては、市内の業者を選定しました。

(ウ) 法人本部と連携して書類作成、業務手順も統一し、事務の効率化を図りました。

#### (3) 苦情受付体制について

(ア) 法人内で定めた「苦情解決規則」に基づき、苦情受付担当者・苦情解決責任者を配置し、お客様からの意見・要望・苦情等に素早く適切に対応しました。また再発防止の為、法人本部、ケアプラザ職員間で情報共有し、改善と予防に努めました。

(イ) 自分たちの業務の振り返りや改善に役立てるため、来館の方からの忌憚のない意見をいただくための「ご意見箱」を情報ラウンジに設置しました。定期的に関封し、対応しました。

(ウ) 公正・中立の立場からの意見・調整を行う第三者委員制度を法人内に設置し、適切な苦情解決に繋がる体制を整備しています。また、法人内のサービス向上委員会から毎月報告される各部門の苦情等を速やかに全職員に周知し、改善につなげました。

#### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

(ア) 日々の日常警備は、警備会社に委託し機械警備を行っています。

(イ) 法人全体の緊急時連絡体制及び小菅ヶ谷地域ケアプラザ内部の連絡体制を組み、緊急時に役立てています。

(ウ) 「防災対応マニュアル」「消防計画」を整備しています。また、栄消防署指導の下、栄区生活支援センター・栄区シニアクラブ連合会事務局と協力体制をとり、地域住民、貸室登録団体にも参加依頼し、年2回の消防避難訓練を実施しました。終了後、参加者に防災講話や消火器、AED訓練を実施しました。

(オ) 福祉避難所開設訓練は栄区生活支援センターと協働で年1回行いました。開設のための備品を準備し、役割分担等を行い、非常食と館内にある材料で食事を作る「訓練を実施しました。毎月1回栄区生活支援センターと防災会議開催し、緊急連絡用通信機の受診送信状況をチェックしました。

(エ) 通所介護部門では、デイサービスのお客様に参加していただき、隔月で様々な状況を想定した避難訓練を行い、災害時に備えました。また、職員が器具や救出のた

めの道具を使いこなす実習を行い、安全に、安心して避難していただけるように訓練しました。

(カ) 緊急時に素早い対応ができる体制作りのため、職員の安否確認を行う「災害時伝言ダイヤル(たよれーる)」訓練と幹部職員による年1回の「徒歩参集訓練」を実施しました。またパート職員も含め全員の安否確認ができるように、職員の緊急連絡先名簿を作成し備えています。

(キ) 災害時に於いてもスムーズな業務再開に繋がられるよう作成した「BCP(事業継続計画)」の作成と適宜更新を行いました。

(ク) 小菅ヶ谷第一町内会の防災プロジェクトに参加し、地域の防災への取り組みに協力しました。また地域貢献で開始した小菅ヶ谷第一町内会の安全パトロールは地域住民の参加も得て、職員2名体制で、週2回行いました。

(ケ) 栄区生活支援センターが不審者及び施設内での異常行動を小菅ヶ谷地域ケアプラザに知らせるための緊急警報装置を1階小菅ヶ谷地域ケアプラザ事務所に設置しました。不審者侵入の際に警察等への連絡及び応援が合築施設から得られることで、迅速な対応を行っています。

#### (5) 事故防止への取組について

(ア) 緊急時(事故・急病等)に備えて、対応マニュアル・連絡網を随時整備しました。緊急伝達のための緊急連絡網を毎月更新し、年1回電話連絡訓練を行いました。

(イ) 事業開始前に、ミーティングを実施し、業務に必要な情報の共有や注意事項の申し送りを行い、事故防止に役立てています。

(ウ) 実際に起きた事故事例やヒヤリハットについて、職員全員で振り返り、問題点や改善策を話し合い、再発防止に役立てました。また毎月の衛生委員会で、リスクアセスメントを行い、事故の再発予防と対策について検討し、職員全員に周知しています。

(エ) 各セクションの会議に於いては、自事業所のみならず法人全体で起きた事故事例を知り、そこから学びかつ危機意識を高め、同様の事故を未然に防ぐよう努めました。

(オ) 実際に起きてしまった事故に関しては、早急に対応が取れるよう、「事故報告(第一報)の連絡経路」「事故発生に係る緊急連絡体制」を整備し、いつなるとき事故が発生しても、誰もが同じ対応が出来る体制をとっています。

(カ) 車両事故予防のため、乗車前のアルコールチェッカーによる測定、健康状態等の申告を徹底します。また満70歳以上のドライバーには法人が定めたドライバーチェックを毎年実施し、適性を判断しています。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

(ア) 法人全体で、「個人情報保護規程」「個人情報保護に関する基本方針」を定めており、ケアプラザ内で周知しました。小菅ヶ谷地域ケアプラザでは、個人情報保護管理の担当者及び責任者を配置しています。

(イ) ケースファイルや相談票・各種記録等、個人情報に抵触するものは、必ず施錠できるキャビネットに収納しています。また、パソコンはパスワード等で保護し、盗難防止の鍵付きワイヤーで固定しています。持ち出し可能な磁気媒体（USB等）の使用は一切禁止し、情報漏洩のリスク軽減に努めました。

(ウ) 個人情報の入った書類の持ち出しは、必要最低限にとどめ、「個人情報及び携帯電話持出確認簿」に記入しダブルチェックをしました。また外出専用バックを使用し、紛失のリスク軽減を図っています。

(エ) 個人情報漏洩防止のため、郵便物の発送や FAX 送信の際は、複数の者でダブルチェック後、個人情報送信時チェックリストに記入し再確認を行いました。また、FAX に関しては、氏名等のマスキングを徹底しています。

(オ) 広報紙等に於いて、個人が特定できる写真や記事等を掲載する場合には、書面と口頭で了解を得た上で掲載しています。

(カ) 所内で「個人情報の取り扱いについて」の研修を年 1 回及び採用時に実施するほか、法人本部での「個人情報保護・情報セキュリティ研修」を担当職員が受講し、その後、職場に於いて全職員対象へ伝達研修を行い、意識づけと注意喚起を促しました。

#### (7) 情報公開への取組について

(ア) 横浜市が制定する「情報公開条例」の趣旨に則り、情報開示請求があった場合は、法人内で定められた「情報公開規程」に沿って、個人情報保護に最大限に配慮しつつ対応しました。

(イ) 広報紙「小菅ヶ谷地域ケアプラザだより」（年 4 回）、「小菅ヶ谷地域ケアプラザ事業のご案内 月刊掲示板号」（年 8 回）の配布・回覧・掲示やケアプラザのホームページ、小菅ヶ谷地域ケアプラザ独自のブログ「小菅ヶ谷ケアプラザ 徒然なるままに…」をイベント毎に更新し、今現在の小菅ヶ谷地域ケアプラザの情報提供を行いました。

(ウ) 福祉医療関係者会議・シニアクラブ・地域サロン等に積極的に赴き、情報提供を行いました。更に、駅前祭りやいたちまつり（施設まつり）等イベント実施の機会を利用して、今までケアプラザを利用されていない方への情報提供を行いました。

#### (8) 人権啓発への取組について

(ア) 法人本部がテーマを決め、外部講師により開催する「人権研修」に職員を積極的に参加させ、帰所後、伝達研修を行いました。

(イ) 法人の理念の下、倫理綱領において「お客様の人権を大切に」各業務に取り組みました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

(ア) ボランティアやデイサービスのお客様の協力を得て、植栽管理を行いました。エントランスの花壇には季節の草花を、プランターでの植栽により緑化の推進に努めました。年間を通じて、ボランティアの方が協力して除草を行っています。また、当ケアプラザの取組として、敷地内の植木の剪定を年3回、消毒を年2回、専門業者に依頼して維持に努めました。

(イ) 節電、節水をこまめに行い、コピー用紙の裏面使用などの資源の有効利用を励行するなど、省エネルギー対策、ゴミの減量化など良好な環境の維持を図りました。ケアプラザ事業の「ちょっぴんカットボランティア」では、使用済み封筒リサイクル、古布のリユース、マグネットカードの活用などを進めています。

(ウ) 省エネルギーに努めるため、電力消費がピークとなる夏季に軽装（クールビズ）での執務を、冬季には暖かい服装（ウォームビズ）での執務を心掛けました。服装以外にも、夏季のエアコンの設定温度を28℃にし（貸室、デイサービス等の部屋は適宜の設定）、冬季は暖房を20℃に設定しています。また不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源を落とすなど徹底しました。また、当ケアプラザ屋上のソーラーパネルの太陽光発電を活用することで、省エネ及び緊急時の電力供給を行っています。

(エ) 横浜市「ごみゼロルート回収」のルールに従い、資源ゴミの分別を徹底し、排出するごみの減量化を行いました。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
看護職	1名（常勤兼務）
社会福祉士	1名（常勤兼務）
主任ケアマネジャー	1名（常勤兼務）
介護予防プランナー	4名（非常勤専任）

#### 《目標に対する成果等》

（1）要支援者が、自立した日常生活を継続していくために、一人ひとりの心身の状況や環境を考え、要支援者が目標を持って生活を送れるプランを作成しました。

（2）住み慣れた地域で生活が続けられるよう、生活支援コーディネーターと協働し、地域のインフォーマルサービスを利用したプランを作成しました。

（3）委託先のケアマネジャーと情報交換や総合事業の周知を行いケアマネジメント技術の向上に努めました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 介護予防プランナーの資質向上に向けて、毎月会議を開催します。

#### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
102	106	107	116	107	114
10月	11月	12月	1月	2月	3月
106	106	108	108	112	113



● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者	1名	(常勤兼務)
介護支援専門員	1名	(常勤兼務)
	3名	(常勤専従)
	1名	(非常勤専従)

《目標に対する成果等》

(1) 地域包括支援センター、行政、関係機関、地域の保健・医療・福祉の各種団体、サービス事業者と連携を図りました。

(2) 地域と密に連携をとり、地域特性に応じた地域包括ケアシステムを視野に入れて活動しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

(1) 重度の要介護状態になっても、住み慣れた地域で希望する生活が出来るようにお手伝いいたしました。

(2) 特定事業所加算Ⅱの算定をし、主任介護支援専門員1名配置しています。

- ・24時間緊急相談対応相談ができる体制をとります。
- ・介護支援専門員実務者研修 実習生4人を受け入れました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
133	133	132	133	133	134
10月	11月	12月	1月	2月	3月
138	144	145	142	138	138

● 通所介護

《提供するサービス内容》

(1) 一人ひとりの自立した生活を尊重し、入浴、排泄、食事等のサービスを提供します。

(2) 集団および個別での余暇活動や体操を行い、且つそれが日常生活訓練・機能向上に結び付くようなメニューを提供します。

(3) サービス実施に当たり、関係機関、ケアマネジャー及び地域の関係者との連携調整を図り、総合的で効率的、効果的なサービスを提供します。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

●負担分	(1割負担)	(2割負担)	(3割負担)
(要介護1)	692円	1,383円	2,075円
(要介護2)	816円	1,632円	2,448円
(要介護3)	947円	1,894円	2,840円
(要介護4)	1,076円	2,151円	3,226円
(要介護5)	1,205円	2,410円	3,615円
●入浴加算	54円	108円	161円
●口腔機能向上訓練加算	161円	322円	483円
●中重度ケア体制加算	49円	97円	145円
●送迎減算(片道)	-51円	-101円	-151円

※送迎を行わなかった場合

●介護職員処遇改善加算I

一ヶ月の利用単位数の1,000分の59に相当する単位数の金額

●食費負担 700円

●当日キャンセル料 500円

●その他レクリエーションにかかる実費等(希望がある場合)

《事業実施日数》 週 6日 日

《提供時間》 9:25 ~ 16:30

《職員体制》

管理者	1名	看護職員	1名
生活相談員	1名	機能訓練指導員	1名
介護職員	7名	送迎運転手	4名
調理員	2名		

《目標に対する成果等》

(1) 身体機能や日常生活機能の訓練ができるデイサービスを目指しました。

(2) 軽度な方から医療的ニーズを必要とされる方まで受け入れられる体制を作りました。医療ニーズについては、看護師も訪問し、手技の確認をするなどおこないました。

(3) お客様へ多様なニーズに応えられる様プログラムを充実させ選択できるデイサービスを目指しました。麻雀や百人一首など好みに合わせてできる活動を実施しました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

(1) お客様の身体状況を把握し、その方にあったプログラムを提案し、充実した時

間を提供しました。

(2) 音楽、体操、趣味活動を充実し、お客様に選択していただける活動を用意しました。

(3) スタッフ育成システムを作り、介護職の介護技術の向上に努めました。

(4) 地域に開かれたデイサービスを目指し、夏休み中のインターンシップ受け入れ等で小・中及び高校生との交流を行いました。

(5) 介護や医療の専門職が共同し、専門的な知識に基づいて、お客様の生活機能の維持・改善のために必要な支援を行いました。

(6) 見学を随時受け付けました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
608	642	594	577	592	608
10月	11月	12月	1月	2月	3月
690	674	627	588	518	560

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- (1) 一人ひとりの症状に合わせて個別対応を行います。
- (2) 社会参加の機会を持ちます。
- (3) 認知症の理解を深めるために、啓発活動を行います。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

●負担分	(1割負担分)	(2割負担分)	(3割負担分)
(要介護1)	1,072円	2,144円	3,215円
(要介護2)	1,188円	2,376円	3,564円
(要介護3)	1,305円	2,609円	3,914円
(要介護4)	1,422円	2,844円	4,266円
(要介護5)	1,593円	3,077円	4,616円
●入浴	55円	109円	164円
●個別機能訓練	30円	59円	88円
●送迎減算(片道)	-52円	-103円	-154円
※送迎を行わなかった場合			
●介護職員処遇改善加算I	一ヶ月の利用単位数の1,000分の104に相当する単位数の料金		
●食費負担	700円		
●当日キャンセル料	500円		
●その他レクリエーションにかかる実費等(希望がある場合)			

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:25 ~ 16:30

《職員体制》(1日あたり)

管理者	1名	看護職員	1名
生活相談員	1名	機能訓練指導員	1名
介護職員	3名	調理員	2名
送迎運転士	4名		

《目標に対する成果等》

(1) 認知症の理解を広めるために、地域に向けて研修を行い地域の方と触れ合う機会を作りました。

(2) 「はまなす」に来ていることが誇りに思える居場所になれるよう、お一人お一人に役割を持っていただきました。

(3) 役割を持ち活躍の場を提供しました。

(4) 地域に脳活性化リハビリゲーム「スリーA」を知ってもらう為に講師に出向きました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

(1) 個々の理解力に合わせて、達成可能な活動プログラムを提供しました。

(2) 役割が持てるように、机上の作業だけでなく、ケアプラザ内の他職員と連携し、事務室にコーヒーを淹れて届けたり、館内の掃除の手伝いをしました。

- (3) 認知症の人と家族の会、神奈川支部の広報紙に、デイサービスの活動を連載しています。
- (4) 施設内の壁面に、月替わりで壁面アート作品を展示し、地域の方にも見学に来ていただきました。
- (5) いたちまつり（施設まつり）に、屋台を出して、実際にお客様と参加し地域の方と交流の場を持ちました。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
227	310	303	304	306	285
10月	11月	12月	1月	2月	3月
314	290	284	260	233	299

● 第1号通所事業

《提供するサービス内容》

(1) できる限り、要介護状態になることを防止し、自宅での生活を長く続けていただけるように、運動機能向上のプログラムを提供します。

(2) 集団及び個別の趣味活動や健康体操を行い、デイサービスでお過ごし時間が日常生活訓練・機能訓練が自然に行えるメニューを提供します。

(3) サービス実施に当たり、関係機関、ケアマネジャー及び地域の関係者との連携調整を図り、総合的で効率的、効果的なサービスを提供します。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

●負担分	(1割負担分)	(2割負担分)	(3割負担)
(要支援1)	1,766円	3,531円	5,297円
(要支援2) 週1回利用	1,766円	3,531円	5,297円
(要支援2) 週2回利用	3,621円	7,241円	10,861円
●運動機能訓練加算	242円	483円	724円
●口腔機能向上訓練加算	161円	322円	483円
●介護職員処遇改善加算 I	一ヶ月の利用単位数の1,000分の59に相当する単位数の料金		
●食費負担	700円		
●当日キャンセル料	500円		
●その他レクリエーションにかかる実費等（希望がある場合）			

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 10:00 ~ 16:00

《職員体制》

管理者	1名	看護職員	1名
生活相談員	1名	機能訓練指導員	1名
介護職員	7名	送迎運転手	4名
調理員	2名		

《目標に対する成果等》

(1) 身体機能や日常生活機能の訓練ができるデイサービスを目指しました。

(2) 軽度な方から医療的ニーズを必要とされる方まで受け入れられる体制を作りました。医療ニーズについては、看護師も訪問し、手技の確認をするなどおこないました。

(3) お客様へ多様なニーズに応えられる様プログラムを充実させ選択できるデイサービスを目指しました。麻雀や百人一首など好みに合わせてできる活動を実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

(1) お客様の身体状況を把握し、その方にあったプログラムを提案し、充実した時間を提供しました。

(2) 音楽、体操、趣味活動を充実し、お客様に選択していただける活動を用意しました。

(3) スタッフ育成システムを作り、介護職の介護技術の向上に努めました。

(4) 地域に開かれたデイサービスを目指し、夏休み中のインターンシップ受け入れ等で小・中及び高校生との交流を行いました。

(5) 介護や医療の専門職が共同し、専門的な知識に基づいて、お客様の生活機能の維持・改善のために必要な支援を行いました。

≪利用者実績（契約者数）≫

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
113	126	114	120	111	117
10月	11月	12月	1月	2月	3月
120	103	106	106	101	110

平成30年度「小菅ヶ谷地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,253,145	167,820	14,420,965	14,420,965	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0		0	
自主事業収入			0	95,166	△ 95,166	
雑入	141,895		141,895	214,191	△ 72,296	
印刷代	0		0	10,730	△ 10,730	
自動販売機手数料			0	202,929	△ 202,929	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他（指定管理料充当分）	0		0	532	△ 532	
その他（施設使用料相当額 法人負担分）	△ 3,587,500		△ 3,587,500		△ 3,587,500	
その他（提案時控除 法人負担分）	3,587,500		3,587,500		3,587,500	
収入合計	14,395,040	167,820	14,562,860	14,730,322	△ 167,462	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,070,788	0	11,070,788	9,392,307	1,678,481	
本俸	7,663,582		7,663,582	6,874,918	788,664	
社会保険料	1,005,562		1,005,562	752,726	252,836	
手当計	2,174,658		2,174,658	1,552,869	621,789	
健康診断費	48,545		48,545	36,789	11,756	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	6,630	△ 630	ハマみれんど
退職給付引当金繰入額	172,441		172,441	166,875	5,566	
その他			0	1,500	△ 1,500	
事務費	726,027	0	726,027	1,299,550	△ 573,523	
旅費	4,536		4,536	1,187	3,349	
消耗品費	187,152		187,152	195,937	△ 8,785	
会議場費			0	0	0	
印刷製本費	228,198		228,198	150,412	77,786	
通信費	182,002		182,002	186,375	△ 4,373	
使用料及び賃借料	0	0	0	68,580	△ 68,580	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	68,580	△ 68,580	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	17,759	△ 17,759	
職員等研修費			0	9,874	△ 9,874	
振込手数料			0	18,089	△ 18,089	
リース料	46,667		46,667	135,141	△ 88,474	
手数料	77,472		77,472	0	77,472	
地域協力費			0	61,150	△ 61,150	
その他		0	0	455,046	△ 455,046	
事業費	294,781	0	294,781	365,187	△ 70,406	
運営協議会経費	42,000		42,000	1,736	40,264	
指定管理料充当 事業	252,781		252,781	363,451	△ 110,670	
管理費	3,481,936	167,820	3,649,756	3,842,959	△ 193,203	
建築物・建築設備点検		0	0	0	0	
光熱水費	504,758		504,758	545,751	△ 40,993	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費			0	1,478,888	△ 1,478,888	
修繕費	648,926	167,820	816,746	641,820	174,926	
機械設備費	124,618		124,618	124,618	0	
設備保全費	2,177,164	0	2,177,164	854,548	1,322,616	
空調衛生設備保守	2,010,131		2,010,131	531,910	1,478,221	
消防設備保守			0	71,546	△ 71,546	
電気設備保守	131,631		131,631	0	131,631	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	35,402		35,402	251,092	△ 215,690	
共益費			0	0	0	
その他	26,470		26,470	197,334	△ 170,864	
公租公課	850,000	0	850,000	751,384	98,616	
事業所税			0	0	0	
消費税	850,000		850,000	751,384	98,616	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	16,423,532	167,820	16,591,352	15,651,387	939,965	
差引	△ 2,028,492	0	△ 2,028,492	△ 921,065	△ 1,107,427	

自主事業費収入	252,781		252,781	95,166	157,615	自主事業への参加料等
自主事業費支出	252,781		252,781	363,451	△ 110,670	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 268,285	268,285	

管理許可・目的外使用許可収入	144,000		144,000		144,000	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	19,200		19,200	0	19,200	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	124,800		124,800	0	124,800	



**平成30年度「小菅ヶ谷地域ケアプラザ」**  
**収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,246,000	0	23,246,000	23,246,000	0	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業（包括）	22,200		22,200		22,200	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0		0	
指定管理料充当事業（生活支援）	22,200		22,200		22,200	
自主事業収入			0	51,583	△ 51,583	
雑入	379,000	0	379,000	54,644	324,356	
印刷代	70,000		70,000	0	70,000	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	309,000		309,000	54,644	254,356	
その他（提案時控除 法人負担分）			0		0	
<b>収入合計</b>	<b>29,609,400</b>	<b>0</b>	<b>29,609,400</b>	<b>29,292,227</b>	<b>317,173</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	28,629,711	0	28,629,711	22,711,631	5,918,080	
本俸	14,991,720		14,991,720	12,256,290	2,735,430	
社会保険料	3,760,741		3,760,741	3,124,995	635,746	
手当計	9,196,857		9,196,857	6,847,710	2,349,147	
健康診断費	72,327		72,327	25,881	46,446	
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000	21,380	2,620	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	584,066		584,066	433,875	150,191	
その他			0	1,500	△ 1,500	
事務費	757,669	0	757,669	1,219,252	△ 461,583	
旅費	25,497		25,497	24,468	1,029	
消耗品費	76,400		76,400	91,257	△ 14,857	
会議贈い費			0	0	0	
印刷製本費	92,470		92,470	150,412	△ 57,942	
通信費	193,128		193,128	185,226	7,902	
使用料及び賃借料	95,060	0	95,060	64,743	30,317	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	95,060		95,060	64,743	30,317	
備品購入費			0	41,533	△ 41,533	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	7,270		7,270	17,759	△ 10,489	
職員等研修費	30,803		30,803	39,359	△ 8,556	
振込手数料	22,625		22,625	18,585	4,040	
リース料	214,416		214,416	181,047	33,369	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	36,250	△ 36,250	
その他		0	0	368,613	△ 368,613	
事業費	1,060,147	0	1,060,147	572,838	487,309	
協力医	483,000		483,000	210,000	273,000	
指定管理料充当 事業（包括）	117,147		117,147	94,670	22,477	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	117,168	191,832	
<b>管理費</b>	<b>1,113,899</b>	<b>0</b>	<b>1,113,899</b>	<b>976,928</b>	<b>136,971</b>	
建築物 建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	139,492	0	139,492	145,072	△ 5,580	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費			0	393,121	△ 393,121	
修繕費	350,560		350,560	126,000	224,560	
機械警備費	33,126		33,126	33,126	0	
設備保全費	590,721	0	590,721	227,154	363,567	
空調衛生設備保守	534,340		534,340	141,393	392,947	
消防設備保守			0	0	0	
電気設備保守	46,971		46,971	19,017	27,954	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	9,410		9,410	66,744	△ 57,334	
共益費			0	0	0	
その他			0	52,455	△ 52,455	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>31,561,426</b>	<b>0</b>	<b>31,561,426</b>	<b>25,480,649</b>	<b>6,080,777</b>	
<b>差引</b>	<b>△ 1,952,026</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,952,026</b>	<b>3,811,578</b>	<b>△ 5,763,604</b>	

自主事業費収入	0		0	51,583	△ 51,583	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	362,838	△ 362,838	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 311,255	311,255	

管理許可 目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可 目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可 目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

平成30年4月1日～平成31年3月31日

施設名：小菅ヶ谷地域ケアプラザ

(単位：千円)

科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			認知通所介護			
	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入																
介護保険収入	15,530	14,576	954	30,397	30,597	-200	80,259	79,107	1,152	7,739	8,102	-363	46,583	52,151	-5,568	
その他	0	0	0	696	2,088	-1,392	832	822	10	0	0	0	30	41	-41	
介護予防ケアマネジメント費			0			0			0			0			0	
事業・負担金収入			0			0			0			0			0	
			0			0			0			0			0	
			0			0			0			0			0	
その他			0	696	2,088	-1,392	832	822	10			0		41	-41	
<b>収入合計(A)</b>	<b>15,530</b>	<b>14,576</b>	<b>954</b>	<b>31,093</b>	<b>32,685</b>	<b>-1,592</b>	<b>81,091</b>	<b>79,929</b>	<b>1,162</b>	<b>7,739</b>	<b>8,102</b>	<b>-363</b>	<b>46,613</b>	<b>52,192</b>	<b>-5,579</b>	
支出																
人件費	5,490	5,870	-380	28,371	25,233	3,138	67,150	68,833	-1,683				25,476	25,952	-476	
事務費	8,202	8,023	179	1,155	1,031	124	6,312	6,089	223				2,755	2,426	329	
事業費	197	206	-9	209	217	-8	8,153	9,107	-954				2,680	3,002	-322	
管理費			0			0	6,730	6,650	80				2,563	2,277	286	
その他	0	0	0	0	0	0	216	335	-119				0	0	0	
利用者負担軽減額			0			0	20	89	-69						0	
消費税			0			0			0						0	
介護予防プラン委託料			0			0			0						0	
			0			0			0						0	
			0			0			0						0	
			0			0			0						0	
その他			0			0	196	246	-50						0	
<b>支出合計(B)</b>	<b>13,889</b>	<b>14,099</b>	<b>-210</b>	<b>29,735</b>	<b>26,481</b>	<b>3,254</b>	<b>88,561</b>	<b>91,014</b>	<b>-2,453</b>				<b>33,474</b>	<b>33,657</b>	<b>-183</b>	
<b>収支(A)-(B)</b>	<b>1,641</b>	<b>477</b>	<b>1,164</b>	<b>1,358</b>	<b>6,204</b>	<b>-4,846</b>	<b>-7,470</b>	<b>-2,983</b>	<b>3,615</b>				<b>13,139</b>	<b>18,535</b>	<b>-5,396</b>	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

# 平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ(共催)

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
華シニア連続講座	地域住民	7,204	地活	3,602	0	0	2,784	818	0
	111人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	3,602	0	0	2,784	818	0
ほっかほかタイム	高齢者	68,031	地活	4,755	17,848	0	0	19,243	3,360
	220人/年		包括	4,788	17,776	0	0	19,204	3,360
	200円/回		生活	5,088	17,776	0	0	19,204	3,660
ちょっぴんカットボランティア	高齢者	13,440	地活	4,480	0	0	0	0	4,480
	214人/年		包括	4,480	0	0	0	0	4,480
	なし		生活	4,480	0	0	0	0	4,480
ルーテル保育園 ほほえみサロン	高齢者	10,473	地活	3,021	468	0	0	1,249	2,240
	53人/年		包括	3,028	467	0	0	1,255	2,240
	100円/回		生活	3,024	465	0	0	1,249	2,240
出前講座	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	228人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
認知症サポーター 養成講座	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	35人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
健康ウォーク	高齢者	94,694	地活	0	0	0	0	0	0
	112人/年		包括	44,797	2,550	0	44,547	0	2,800
	300円(1回のみ)		生活	44,797	2,550	0	44,547	0	2,800
ボランティア講座	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	46人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
植栽ボランティア	地域住民	17,862	地活	8,932	0	0	0	8,932	0
	91人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	8,930	0	0	0	8,930	0
ミシンボランティア	高齢者	778	地活	389	0	0	0	389	0
	112人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	389	0	0	0	389	0
ベルジュのつどい	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	29人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
本郷台駅前祭り	地域住民	14,249	地活	4,749	0	0	0	4,749	0
	不特定多数		包括	4,749	0	0	0	4,749	0
	なし		生活	4,751	0	0	0	4,751	0

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ(地域)

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
Kimichan先生の遊びの広場 すきっぷクラブ (びよちゃん)	0~1歳半の親子	78,048	地活	64,848	13,200	0	61,248	0	16,800
	66人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	300円/回		生活	0	0	0	0	0	0
Kimichan先生の遊びの広場 すきっぷクラブ (うさちゃん)	1歳半以上の親子	79,488	地活	57,588	21,900	0	61,248	1,440	16,800
	134人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	300円/回		生活	0	0	0	0	0	0
うたっちゃん	中途障害者	39,921	地活	-1,579	41,500	0	0	28,161	11,760
	110人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	300/回		生活	0	0	0	0	0	0
若年性認知症 笑風の会	若年認知症と家族	6館持ち回り会計	地活	0	0	0	0	0	0
	64人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	(200円)		生活	0	0	0	0	0	0
漢字王決定戦	地域住民	4,920	地活	4,670	250	0	0	4,080	840
	5人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	50円		生活	0	0	0	0	0	0
いっしょいあそぼう	未就園児と親	3,360	地活	3,360	0	0	0	0	3,360
	21人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
ピカピカ大作戦	貸室団体	8,992	地活	8,992	0	0	0	6,752	2,240
	58人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
ボランティア 交流会&感謝会	ボランティア	16,832	地活	8,415	0	0	0	8,415	0
	30人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	8,417	0	0	0	8,417	0
パパと一緒に遊ぼう	0~3歳児と親	1,680	地活	1,680	0	0	0	0	1,680
	29人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
いたちまつり2018	地域住民	77,482	地活	77,482	0	0	0	63,482	14,000
	設定なし		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
シニアボランティア ポイント研修会	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	20人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
子どもアートキャラバン	3~7歳の子どもと親	0	地活	0	0	0	0	0	0
	30人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ(地域)

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
子育てサポートシステム 入会説明会 (にこりんく共催)	地域住民	560	地活	560	0	0	0	0	560
	9人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
健康づくり講座	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	22人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
押田先生と遊ぼう!	未就園児と保護者	0	地活	0	0	0			
	18人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ(包括)

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
認知症介護者のつどい	介護者	3,694	地活	0	0	0	0	0	0
	61人/年		包括	3,694	0	0	0	3,694	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
ケアマネジャー勉強会	ケアマネジャー	0	地活	0	0	0	0	0	0
	48人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
みんなの勉強会	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	36人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
多職種勉強会	専門職・地域関係者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	63人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
医療連携会議	専門職・地域関係者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	31人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
権利擁護相談会	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	2名/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
消費者被害啓発講座	障がい児者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	19人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
スリーA てんとうむし	地域住民	8,531	地活	0	0	0	0	0	0
	112人/年		包括	6,581	1,950	0	0	5,171	3,360
	50円		生活	0	0	0	0	0	0
出張包括	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	40人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
新任ケアマネジャー勉強会	ケアマネジャー	0	地活	0	0	0	0	0	0
	31人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
民生委員との勉強会	専門職・地域関係者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	54人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
介護予防事業	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	195人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ(生活)

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
手しごとクラブ 包丁研ぎの会	高齢者	5,573	地活	0	0	0	0	0	0
	43人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	100円/回		生活	2,973	2,600	0	0	5,573	0
手しごとクラブ ストロービーズネックレスの会	地域住民	1,746	地活	0	0	0	0	0	0
	12人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	100円/回		生活	546	1,200	0	0	1,186	560
手しごとクラブ ミニアクアリウムの会	地域住民	1,728	地活	0	0	0	0	0	0
	7人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	200円/回		生活	328	1,400	0	0	1,728	0
おいしいお茶のいれ方講座	地域住民	1,760	地活	0	0	0	0	0	0
	23人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	1,760	0	0	0	1,200	560
ボランティア茶房	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	12人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	0	0	0	0	0	0
支え合いマップを作って 生かそう	地域住民	2,586	地活	0	0	0	0	0	0
	8人/年		包括	0	0	0	0	0	0
	なし		生活	2,586	0	0	0	2,586	0
		0	地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
		0	地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
		0	地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
		0	地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
		0	地活	0					
			包括	0					
			生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
華シニア連続講座	<p>【目的】</p> <p>①地域シニアの生きがいづくり ②介護予防 ③ボランティア支援</p> <p>【内容】</p> <p>さかえ華シニアボランティアと企画立案する 「地域の歴史」「シニアの栄養」「シニアの防災」「シニアの防犯」など</p>	5回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっかほかタイム	<p>【目的】</p> <p>①高齢者閉じこもり防止 ②介護予防 ③他者との交流の場の提供</p> <p>【内容】</p> <p>ボランティアの協力による調理と会食</p>	毎月第1金曜日 12回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちょっぴんカットボランティア	<p>【目的】</p> <p>①中高年の引きこもり防止 ②認知症予防・介護予防 ③居場所づくり・交流の場の提供 ④ボランティア育成</p> <p>【内容】</p> <p>古布や封筒などの再利用品の作成</p>	毎月第2、3金曜日 23回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ルーテル保育園 ほほえみサロン	<p>【目的】</p> <p>①集いの場の提供 ②介護予防・認知症予防 ③閉じこもり防止</p> <p>【内容】</p> <p>ケアプラザまで来られない地域での出前サロン 「介護予防体操」「簡単な調理」「昔の遊び」など参加者とボランティアにて内容を検討する</p>	毎月第4木曜日 12回／年



# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出前講座	<p>【目的】</p> <p>①ケアプラザの周知 ②介護予防・認知症予防啓発 ③地域サロン支援</p> <p>【内容】</p> <p>自治会町内会、シニアクラブ、地域サロンなどへ出向いての「介護予防講和・体操」「認知症予防」「権利擁護啓発」などを実施</p>	9回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>【目的】</p> <p>①認知症の正しい理解と啓発 ②認知症サポーターの養成</p> <p>【内容】</p> <p>パワーポイントやテキスト、DVD、寸劇などによる養成講座の実施</p>	2回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康ウォーク教室	<p>【目的】</p> <p>①介護予防・身体機能維持 ②閉じこもり防止 ③交流の場の提供</p> <p>【内容】</p> <p>健康的に歩く方法の実践や介護予防体操</p>	10回連続講座／年 (1回／年)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア講座	<p>【目的】</p> <p>①ボランティア活動について理解を深める ②役割を持って地域とつながっていただく ③交流の場の提供 ④ボランティア育成</p> <p>【内容】</p> <p>ボランティア概論、認知症について、先輩ボランティアに聞く、ボランティア実習、ボランティアデビュー</p>	1回／年 (5回連続)

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
植栽 ボランティア	<b>【目的】</b> ①健康維持・介護予防 ②やりがい・役割を持って地域とつながる ③交流の場の提供 ④ボランティア育成 <b>【内容】</b> ケアプラザ内の植栽（植え付け・メンテナンス） 除草 水やり	冬期：毎月第2・4火曜日 夏期：毎週火曜日 年30回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミシン ボランティア	<b>【目的】</b> ①介護予防・健康維持 ②やりがい・役割を持って地域とつながる ③居場所づくり・交流の場の提供 ④ボランティア育成 <b>【内容】</b> ケアプラザ内の椅子カバー デイサービスやケアマネージャーを介した裁縫依頼に対応する	毎月第1・3火曜日 年22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベルジュ交流会	<b>【目的】</b> 高齢者向け優良賃貸住宅ベルジュ本郷台での住民同士の交流会支援 ボランティア活動支援 <b>【内容】</b> お茶会・勉強会	4回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Kimichan先生の 遊びの広場 すきっぷクラブ (びよちゃん)	<b>【目的】</b> ①1歳半未満の乳児の親子交流の場の提供 ②同世代同士の交流の場の提供 <b>【内容】</b> 概ね1歳半未満の幼児を対象とした、リトミック、手遊び、工作等	毎月第4月曜日 12回／年

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
Kimichan先生の遊びの広場 すきっぷクラブ (ぴよんちゃん)	<b>【目的】</b> ①1歳半以上の乳幼児の親子交流の場 ②同世代親子の交流の場 <b>【内容】</b> 概ね1歳半以上の幼児を対象とした、リトミック、手遊び、工作	毎月第4月曜日 12回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたっちゃんお (中途障がい者 サロン)	<b>【目的】</b> ①中途障がい者の居場所づくり・交流の場の提供 ②関係機関との連携 <b>【内容】</b> サポートセンター等との共催事業 外出・昼食づくりなど(参加者が企画)	毎月第1,3木曜日 祝日休み 22回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若年認知症栄区 のつどい「笑風 の会」	<b>【目的】</b> ①若年性認知症の人の居場所づくり ②介護者の勉強会と交流 <b>【内容】</b> 区内6か所の地域ケアプラザ共催、区役所・区社会福祉協議会の協働により実施 本人の活動の場と家族の話し合いの場の2本立てで実施	3回/年 (6月、11月、2月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
漢字王決定戦@ 小菅ヶ谷地域ケ アプラザ	<b>【目的】</b> 漢字に興味を持つ多世代と一緒に楽しみながら漢字に触れ合い、交流を進める。 <b>【内容】</b> 地球っ子教室と共催。子どもと大人がペアになり、漢字クイズやビンゴゲームで競い合う。	1回/年

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子どもアート キャラバン	<p>【目的】 地域に住む3～7歳の子どもや親に交流の場を提供 リリースとの共催</p> <p>【内容】 親子で造形美術のワークショップ</p>	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ピカピカ大作戦	<p>【目的】 ①貸室登録団体の交流の場 ②貸室の利用マナーの周知</p> <p>【内容】 貸室の清掃、利用方法の周知</p>	3回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり講座	<p>【目的】 ①栄区食生活等改善推進委員と、ケアプラザの横の連携を 強化する ②栄区食生活等改善推進委員と協力し、地域の方への健康 意識を高めていただく</p> <p>【内容】 栄区食生活等改善推進委員の取り組み説明および食につい てのミニ講座と試食会</p>	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いたちまつり 2018	<p>【目的】 ①栄区生活支援センターとの連携強化と施設周知 ②地域住民・ボランティア団体の活動の場の提供 ③地域住民の交流の場</p> <p>【内容】 模擬店、K資質利用団体による展示、イベント、健康チェッ クコーナーなど</p>	10月 1回/年

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シニアボランティアポイント登録研修会in小菅ヶ谷地域ケアプラザ	<b>【目的】</b> ①シニアポイント事業を栄区に広める為、区内6 ケアプラザで順次開催します。 ②新しいボランティアの発掘を図ります。 <b>【内容】</b> シニアポイント制度説明と登録	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパと一緒に遊ぼう	<b>【目的】</b> ①パパと子どもの遊びを通じた交流の場 ②子育てパパ層の呼び込み ③パパ同士の交流の場の提供 <b>【内容】</b> パパと子どもふれあい遊びと	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会&交流会	<b>【目的】</b> ボランティアの方々への感謝を伝え、お互いの活動を紹介し合って交流を進める会 <b>【内容】</b> 各団体、個人ボランティアの情報交換と交流会	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いっしょにあそぼう	<b>【目的】</b> 未就園児と親が保育園児や保育士との交流 <b>【内容】</b> 公田保育園との共催 保育園児の活動の様子を学び、育園の読み聞かせや遊びを体験	2回/年

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てサポートシステム入会説明会	<p>【目的】</p> <p>①子育てサポートシステムの周知と会員確保 ②にこりんくのと要請で開催</p> <p>【内容】</p> <p>地域住民向けの子育てサポートシステムについて説明会</p>	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
押田先生と遊ぶ	<p>【目的】</p> <p>子育て支援</p> <p>【内容】</p> <p>にこりんくとの共催事業 親子のコミュニケーションの大切さを伝え、すぐにできるわらべ遊びなど紹介する。 赤ちゃんの体の発達や環境の大切さを知る</p>	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護相談会	<p>【目的】</p> <p>成年後見制度や相続遺言などの権利擁護に関する個別相談会</p> <p>【内容】</p> <p>栄区内6地域包括支援センター共催にて、司法書士や行政書士による無料相談会</p>	6回/年 (1包括1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護啓発講座	<p>【目的】</p> <p>成年後見制度、虐待や消費者被害などの権利擁護啓発</p> <p>【内容】</p> <p>高齢者に向けた栄区警察からの消費者被害講話</p>	1回/年

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネジャー勉強会	<p>【目的】</p> <p>①ケアマネジャーの活動支援</p> <p>②社会資源・インフォーマルサービスなどの情報共有</p> <p>【内容】</p> <p>①ハートページの読み方研修（2回）※6包括共催</p> <p>②インフォーマルサービスについて</p>	3回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「みんなの勉強会」	<p>【目的】</p> <p>①ケアプラザの周知</p> <p>②地域住民・専門職向けへの介護予防・権利擁護・様々な啓発</p> <p>【内容】</p> <p>①相続と遺言（講師：司法書士）</p> <p>②消費者被害について（講師：横浜消費生活センター）</p> <p>③葬儀とお墓について（講師：葬儀社）</p>	3回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
多職種勉強会	<p>【目的】</p> <p>①福祉・医療など多職種、多機関との連携・ネットワークづくり</p> <p>②情報交換・情報共有の場</p> <p>【内容】</p> <p>精神保健福祉士を講師にて多職種による事例検討勉強会</p> <p>※栄区在宅医療連携室との共催</p>	2回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療連携会議	<p>【目的】</p> <p>①介護と医療の連携</p> <p>②ケアマネジャーのスキルアップ</p> <p>【内容】</p> <p>医師・薬剤師・看護師・ケアマネジャーとの事例検討会</p>	1回／年

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
新任ケアマネジャー勉強会	<p>【目的】</p> <p>①栄区で活動する新任（就労3年未満）及び就労予定ケアマネジャーに向けて、栄区6包括支援センターの主任ケアマネジャーが協働し、研修を企画実施</p> <p>【内容】</p> <p>「主任ケアマネジャーに聞くケアマネのいろは」（講師：居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャー）</p> <p>「福祉機器支援センターに行こう」（講師：泥亀福祉機器支援センター）</p>	2回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員との勉強会	<p>【目的】</p> <p>①ケアマネジャー、民生委員と多職種との連携強化</p> <p>【内容】</p> <p>栄区区役所生活支援課との共催 「平成30年度 地域連携勉強会（アウトリーチパートナー研修）」 民生委員・ケアマネジャー・障害関係機関・子育て拠点との情報交換会・交流会</p>	1回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症介護者のつどい	<p>【目的】</p> <p>①介護者負担の軽減 ②情報交換の場</p> <p>【内容】</p> <p>介護者同士の語り、茶話会</p>	奇数月第2土曜日 6回／

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スリーA てんとうむし	<p>【目的】</p> <p>①認知症予防 ②仲間づくり</p> <p>【内容】</p> <p>認知症予防プログラムスリーAの実施と茶話会</p>	8回／年



# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張包括	<p>【目的】</p> <p>①地域包括支援センターの周知 ②ニーズの掘り起こし</p> <p>【内容】</p> <p>地域の祭りやケアプラザから離れた薬局での出張相談会</p>	2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手しごとクラブ 包丁研ぎの会	<p>【目的】</p> <p>①講習を受けて使える技術を習得する ②役割を持って地域とつながれることを知る ③交流の場の提供 ④ボランティア育成</p> <p>【内容】</p> <p>網戸の張替や飛散防止フィルム貼り、包丁研ぎなど</p>	5回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手しごとクラブ ストロービーズ ネックレスの会	<p>【目的】</p> <p>①講習を受けて使える技術を習得する ②役割を持って地域とつながれることを知る ③交流の場の提供 ④ボランティア育成</p> <p>【内容】</p> <p>網戸の張替や飛散防止フィルム貼り、包丁研ぎなど</p>	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手しごとクラブ ミニアクアリウムの会	<p>【目的】</p> <p>①講習を受けて使える技術を習得する ②役割を持って地域とつながれることを知る ③交流の場の提供 ④ボランティア育成</p> <p>【内容】</p> <p>網戸の張替や飛散防止フィルム貼り、包丁研ぎなど</p>	1回/年

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おいしいお茶の いれ方講座	<b>【目的】</b> ①日常で使える技術を習得する ②ボランティア活動への入り口とする <b>【内容】</b> おいしいお茶のいれ方の講習を受けて技術を習得する	1回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 茶房	<b>【目的】</b> ①ボランティア同士の交流の場 ②ボランティア育成支援 <b>【内容】</b> 各団体、個人のボランティア活動を共有し、交流を促す。 必要に応じ、ミニ講座の実施。	4回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
支え合いマップ を作って生かそ う	<b>【目的】</b> ①地域住民による情報共有 ②共有事項を生かすための見える化をすすめる <b>【内容】</b> これまで学んだことを生かしながら情報共有を行い、共助 につなげるための見える化、マップ作り実施。	1回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防事業	<b>【目的】</b> 介護予防 <b>【内容】</b> 認知症予防スリーA（5回） ロコモティブシンドローム、栄養、口腔講座 （出前・ケアプラザでの実施）	15回／年

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市小菅ケ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
本郷台駅前まつり	<p>【目的】</p> <p>①広く地域の方々に地域ケアプラザと生活支援センターを知って頂く機会とする。</p> <p>②社会貢献の一つとして、地域のお祭りに参加し、地域の活性化を図る。</p> <p>③駅前商店街の方々と顔の見える関係をつくり、今後の事業などに活かす</p> <p>【内容】</p> <p>栄区生活支援センターと共催事業 生活支援センター、ケアプラザの簡易クイズを実施。正解の方にくじをひいていただく。景品は子供向け大人向けを用意 合わせて区と一緒に認知症理解の普及啓発も実施</p>	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数